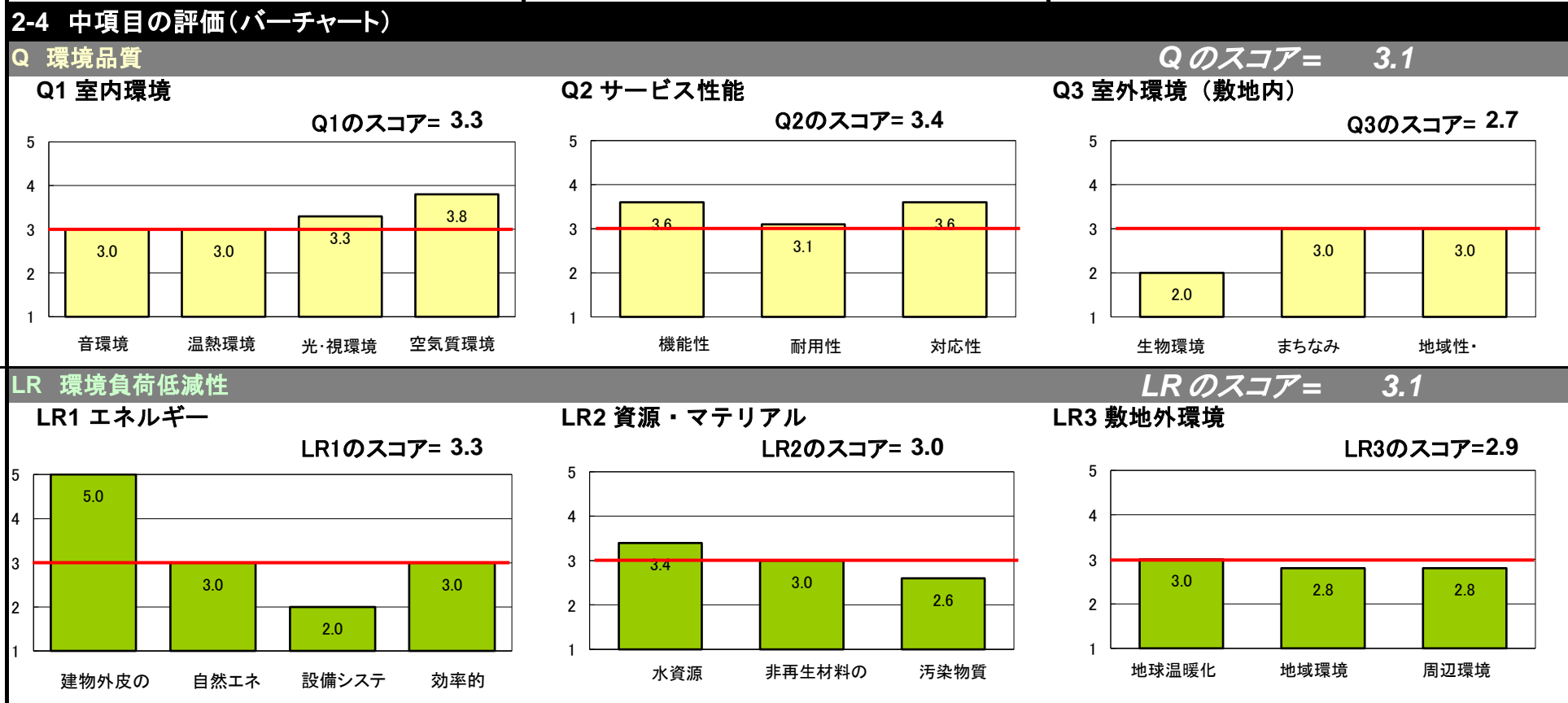
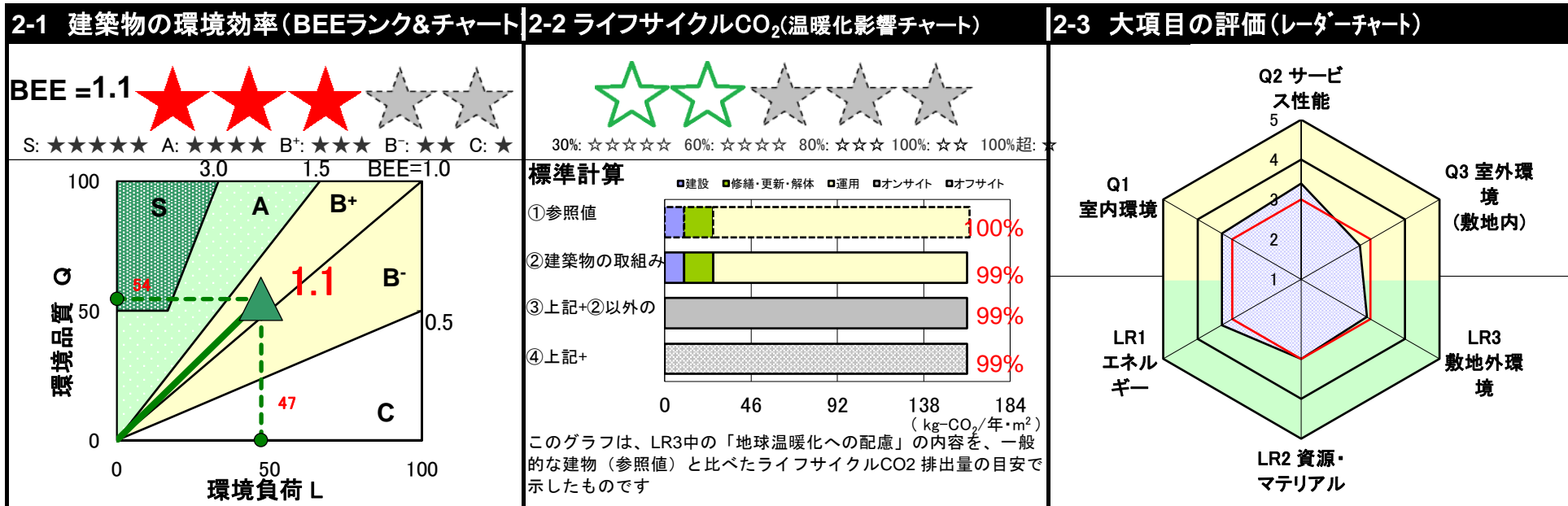


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	安城更生病院 新棟	階数	地下1階地上6階
建設地	愛知県安城市安城町東広畔13-1 他32筆	構造	S造
用途地域	指定無し	平均居住人員	400 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年11月 予定	評価の実施日	2020年4月10日
敷地面積	8,174 m ²	作成者	井橋 隆光
建築面積	2,512 m ²	確認日	2020年4月14日
延床面積	10,568 m ²	確認者	井橋 隆光



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.0</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル		病室は騒音レベル40以下			0.1	3.0	0.15	3.4	3.4	1.00	3.0
1.2 遮音		0.4	3.0	0.40				3.0	0.40		
1 開口部遮音性能			3.0	0.40				3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			3.0	0.60				3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-				3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-				3.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	0.20				3.0	0.20		
2 温熱環境											
2.1 室温制御		0.3	3.0	0.35	3.0	3.0	1.00	3.0	1.00	3.0	
1 室温		0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50	3.0	0.50		
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38				3.0	0.57		
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.25				3.0	0.43		
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.38				-	-		
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.20				3.0	0.20		
		3.0	3.0	0.30				3.0	0.30		
3 光・視環境											
3.1 昼光利用		0.2	3.3	0.25	3.3	3.3	1.00	3.3	1.00	3.3	
1 昼光率		0.3	4.2	0.30	4.2	4.2	0.30				
2 方位別開口		3.0	5.0	0.60				5.0	0.60		
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40				3.0	0.40		
3.2 グレア対策		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30				
1 昼光制御		5.0	3.0	1.00				3.0	1.00		
3.3 照度		3.0	3.0	0.15				3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25				3.0	0.25		
4 空気質環境											
4.1 発生源対策		0.2	3.9	0.25	3.6	3.6	1.00	3.6	1.00	3.8	
1 化学汚染物質		0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63				
4.2 換気		3.0	4.0	1.00				4.0	1.00		
1 換気量		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.38				
2 自然換気性能		3.0	3.0	0.50				3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	-				3.0	0.33		
4.3 運用管理		3.0	3.0	0.50				3.0	0.33		
1 CO ₂ の監視		0.2	5.0	0.20				-	-		
2 喫煙の制御		3.0	3.0	-				-	-		
		3.0	5.0	1.00				-	-		
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	3.4	0.40	4.6	4.6	1.00	4.6	1.00	3.6	
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60				
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-				5.0	1.00		
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	-				3.0	-		
1.2 心理性・快適性		0.3	4.0	0.30	4.0	4.0	0.40				
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	3.0	-				4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		3.0	3.0	-				-	-		
3 内装計画		3.0	4.0	1.00				4.0	0.50		
1.3 維持管理		0.3	3.5	0.30				-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	4.0	0.50				-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50				-	-		
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	3.1	0.31				-	-	3.1	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.2	0.48				-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80				-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	4.0	0.20				-	-		
1 躯体材料の耐用年数		0.3	3.0	0.33				-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		3.0	0.23				-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.23				-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			4.0	0.09				-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.08				-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.15				-	-		
2.4 信頼性		0.1	3.0	0.19				-	-		
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20				-	-		
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20				-	-		
3 電気設備		3.0	3.0	0.20				-	-		
4 機械・配管支持方法	②	3.0	3.0	0.20				-	-		
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20				-	-		

3 対応性・更新性			0.2	3.6	0.29	3.8	3.8	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり			0.3	4.6	0.31	4.6	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	②	階高さ 4100以上		0.60		5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率 0.12		0.40		4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			0.3	3.4	0.38				
1	空調配管の更新性	②	仕上げ材を痛めることなく更新・修繕可能		0.17				
2	給排水管の更新性		仕上げ材を痛めることなく更新・修繕可能		0.17				
3	電気配線の更新性				0.11				
4	通信配線の更新性				0.11				
5	設備機器の更新性				0.22				
6	バックアップスペースの確保				0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			独自③		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-				3.1
LR1 エネルギー					-	0.40		-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPIm 0.79	3.0	5.0	0.30		5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.20		3.0
3 設備システムの高効率化					3.0	2.0	0.30		2.0
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20		3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00		
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50		
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50		
集合住宅の評価					-	-	-		
4.1 モニタリング					-	3.0	-		
4.2 運用管理体制					-	3.0	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	3.0
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15		3.4
1.1 節水				節水型便器の採用	3.0	4.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60		
1				雨水利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.67		
2				雑排水等利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.0	0.63		3.0
2.1 材料使用量の削減					-	3.0	0.07		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.25		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	-	3.0	0.21		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	3.0	1.0	0.21		
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	鉄骨造による外壁乾式パネル化	3.0	5.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	2.6	0.22		2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	2.5	0.68		
1				消火剤	-	-	-		
2				発泡剤(断熱材等)	-	2.0	0.50		
3				冷媒	3.0	3.0	0.50		
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	2.9
1 地球温暖化への配慮			①		-	3.0	0.33		3.0
2 地域環境への配慮					0.3	2.8	0.33		2.8
2.1 大気汚染防止				燃焼機器の不使用	-	5.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善					-	2.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.5	0.25		
1			独自	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		
2				汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		
3			独自	交通負荷抑制	-	1.0	0.25		
4				廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25		
3 周辺環境への配慮					0.3	2.8	0.33		2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40		
1			独自	騒音	-	3.0	0.33		
2			独自	振動	-	3.0	0.33		
3				悪臭	-	3.0	0.33		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40		
1				風害の抑制	-	3.0	0.70		
2				砂塵の抑制	-	3.0	-		
3				日照障害の抑制	-	3.0	0.30		
3.3 光害の抑制					0.2	2.3	0.20		
1				屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	2.0	0.70		
2				屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.0	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 安城更生病院 新棟

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・増え続ける地域診療圏の医療需要に応える病院機能の拡張・再整備。 ・安全性・信頼性の向上と省エネルギーに配慮した設備計画。 ・病院利用者に配慮した外部アメニティー空間の整備。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・南北面は自然光を取り込む開口部を積極的に設け、病室等の居室は日射遮蔽ガラスによるペリメータエリアの快適化に配慮。 ・東面は壁面で、病室がある西面は日射遮蔽ガラスにより熱負荷を軽減し、方位特性・室内環境に応じた外装計画に配慮。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりある階高、天井高さの確保。 ・地震災害時にも機能維持できる構造計画。 ・機器更新に配慮した平面計画、設備計画。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な敷地内緑化により温熱環境に配慮。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・室用途に合わせた空調方式の採用、LED照明・照明制御により、消費エネルギーを低減。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型衛生器具、F☆☆☆☆建材の採用により地球環境に配慮。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に影響を与えないよう、敷地中央に建物を配置。 ・評価敷地内は積極的な緑化によりCO2削減。
その他	